



発行:2020年9月10日 東京都杉並区高井戸東 3-3-15-308「スマイリングホスピタルジャパン事務局」

Tel/Fax: 03-4296-5691 E-mail: info@smilinghpj.org

HP : www.smilinghpj.org

感染拡大に加え、過去に例を見ないほどの猛暑により健康や生活に大きな影響を受けた多くの方に心よりお見舞い申し上げます。

SHJ は 3 月より活動が休止になっているなかで 7 月には少しずつ再開となりました。

動き始めたことを喜ぶ反面、依然として見通しが持てないことから今年度の活動再開を見送る方針を決めた病院もあり落胆は隠せませんが、今できることのアイディアを練り実行する前向きさが何より大切だと感じます。社会の変化の中で、改めて活動の理念と意義を再確認しながら「変わるもの」「変わらないもの」を念頭に、希望を持って進んでいきたいと考えています。

何が起ころうとも変わらないこと、それは子どもは毎日成長している、ということ。

感染には十分留意しながらも、文化的な活動や学びを通してのびのびと今を楽しむ時間をしっかりと保障していけるような新しい日常となるよう願うばかりです。

今号では、再開の様子や提供中のアクティビティ、そして在宅学習支援「学びサポート」で使用する教材を集めた「バリアフリーみんなの教材図鑑」についてなどご紹介いたします。



再開第1号となった広島県立リハビリテーションセンターでの音楽活動  
(2ページで紹介しています)

## もくじ

1 広島再開風景	…2	7 在宅訪問学習支援再開！	…5
2 2020/6～8月トピックス	…2	8 バリアフリーみんなの教材図鑑&感想紹介	…5
3 アクティビティ紹介「色ぬり紙芝居」	…3	9 寄付型自販機マップ	…6
4 アクティビティ紹介「オリジナルステッカー」	…3	10 コラム「不思議なボランティア～SHJの魅力～」	…7
5 スマイリングちゃんねる更新中！	…4	11 連載漫画ろてんちゃん vol.12	…7
6 ひとやすみ	…4	12 団体概要アップデート	…8

みなさまからのご支援は、アーティストの抗体検査、謝金などの貴重な活動費となります。引き続き、大切に使用させていただきます。今後とも変わらず応援くだされば幸いです。

## サポート会員ご入会・ご寄付お待ちしております！

5,000円＝およそ活動1回1名分のアーティスト謝金＝平均20人の子どもに笑顔をプレゼント。ホームページをご覧ください。寄付もお待ちしております。

**\*認定NPOへの寄付(SHJサポート会費も含まれます)は税制優遇の対象になります。**

詳しくは、SHJホームページ「認定NPOについて」をご覧ください。所轄税務署にお尋ねください。



## 活動を再開しました・・・



カスティージョ・アルバルさん(左)と折田新さん

活動が再開された！というニュース？はTBS ラジオの目に(耳に?)とまり、後日「再開の喜びと懸念、そしてコロナでの休止の影響は？」というテーマで取材を受けました。アーティストへの電話インタビューでは折田さんが「爆笑で応えてくれた子もいて、自分たちが行くことが入院の疲れやストレスを吹き飛ばす瞬間だと再確認。活動できるところへはどんどん行きたい」と話していました。久しぶりの活動でしたが、アーティストの子どもたちを応援したい気持ちは、新型コロナなどには負けることはないのです。

4ヶ月半ぶりに再開第一号となったのは、広島県立リハビリテーションセンターです。こちらには通所施設と入所施設がありますが、どちらも7月に再スタートを切ることができました。

見通しの持てない中での止むを得ない直前のセンターからのリクエストでしたが、ラテンピアニストのカスティージョ・アルバルさんと打楽器奏者の折田新さんが、地区コーディネーターからの連絡に二つ返事で「僕らが行きます！」と。

当日は前日まで続いた豪雨の影響で高速道路が通行止めになっていた中でのスタンバイ。直前に解除となり、ちょうど時間に間に合いました。

センターでは感染拡大となってから初めての訪問者だったそうで、この活動がいかに期待され喜ばれているのかがわかり、大変励みになりました。



## 2020/6～8月 トピックス&9月の予定

- 6/10 ニュースレター第25号を発行しました。
- 6/20 オンライン事務局定例会を開催しました。
- 6/24 Share With Fiat 支援団体オンラインミーティングに参加しました。
- 7/13 神奈川県立こども医療センターオンラインミーティングに参加しました。
- 7/25 TBS ラジオにてコロナ禍における活動について紹介させていただきました。
- 7/28 東京ボランティア市民活動センター「ききまね講座」に話題提供者として参加しました。
- 7/28 寄付型自動販売機9号機が沖縄県宮古市「たまごやおかん」様に設置されました。
- 7/28 バリアフリー「みんなの教材図鑑」を発刊しました。
- 8/12 東京新聞に取材いただきました。

- 9/5 オンライン事務局定例会の開催
- 9/5 全国レガシーギフト協会主催「遺贈寄付グローバルキャンペーン」協賛広告 朝日新聞に掲載
- 9/9 ボランティアセンター主催「法務の視点から考えるオンライン時代のNPO活動」講座受講
- 9/12 東京新聞より取材







## 病棟・施設へ「色ぬり紙芝居」のプレゼント



私たちのこだわりは何と言っても「参加型活動」。  
 オンラインが主流になりつつある今、対面でのリアルな関わり合いの良さや大切さを、コロナ禍が教えてくれたように感じます。現在それは叶わないとして、もう一つのこだわり「主体的な活動」を、訪問できないなかでも実現したく、アクティビティのプレゼントを続けています。塗り絵のプレゼントに続くのが絵本作家 保科琢音さん作「色ぬり紙芝居」。  
 A5 サイズで全 10 枚。お話と紙芝居の作り方説明付きセットです。分担して塗っても楽しめます。  
 塗って作って周りの人に披露して・・・とたくさんの活動が生まれます。



YouTube スマイリングちゃんねるで、  
 作り方や遊び方の説明動画をアップ  
 しています。



喜びのメッセージとともに届いた子どもの作品



## キミだけのオリジナルステッカーを作ろう！

アクティビティの提案第3弾はステッカー作り。  
 丸と四角のフォーマットからどちらかを選び、好きな絵やデザインを描いてもらい、それをステッカー加工してプレゼントするものです。  
 ゼネラルステッカー様のご協力による、  
 ラミネート加工のしっかりした仕上げ 20 枚セットです。  
 子どもはシールが大好き。  
 自分だけのオリジナルステッカーなら  
 なおさらテンション上がります！！  
 現在順次ご案内中です。



株式会社ゼネラルステッカー

<https://www.generalsticker.com/>



# 動画配信 YouTube スマイリングちゃんねる 更新中！



活動方針のうち特に大切にしている「参加型活動」。

アーティストが訪問しリアルに対面できるまでは活動はお休みですが、そんななか、お馴染みのアーティストたちが動画でみんなの元へ！。

SHJ の活動は、劇場型ではない一緒に作るアート。だから動画も観ながら一緒に作ったり身体を動かしたり歌ったりできるようなものばかり。前号でも紹介しましたが、新たに届いた動画を紹介します。



スマイリングちゃんねるで検索！



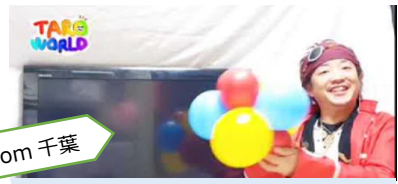
From 東京

大道芸人よーへーのかっこいい！トランプマジック。



From 兵庫

サイエンスレンジャー北野先生の作って遊べる工作がいっぱい！



From 千葉

パレエンパーフォーマー海賊タロウです。不思議な世界へようこそ！



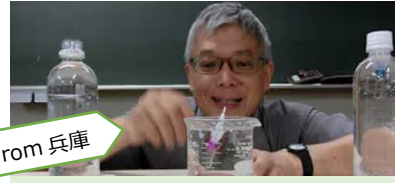
From 東京

Satoko & Friends の「歌って踊ろう！カレーライスのうた」



from 広島

りさせんせいといっしょに夏のたんけんリズム遊び♪



From 兵庫

サイエンスレンジャー北野先生の水の実験。夏休み自由研究に！



From 神奈川

紙芝居のどらです。オリジナルの紙芝居を届けます。楽しんでね！



From 東京

よーへーさん！ペットボトルが浮いてますよ！



From 神奈川

三根政信さんのあそびうた。音楽に乗せて歌も遊びも自由につくろう！

ちょっとひとやすみ！スマホジくんを紹介します。



単なる代表の「落書き」という下積み生活を経てスマホジくんは団体のオフィシャルキャラクターへと異例の出世、その後 HP のバナーを飾り、アーティストたちによるイラスト、バルーン、そして編みぐるみスマホジくんへとその姿も様々になりました。その後、コロナ禍を利用した代表のハンドメイドマスコットはちらほらと Facebook ページにも登場するほどになりました。購入したいという声も(1名…今のところ^^;)。スマホジくんの今後の活躍に期待！





## 在宅訪問学習支援「SHJ 学びサポート」を再開しました



在宅訪問学習支援「学びサポート」は 7 月 11 日をもって順調に再スタートを切りました。各ご家庭には、休止中も折を見ながらお子さんの健康と家庭学習の状況を電話で伺っていましたが、学校も始まり通常登校が落ち着いた 7 月、「そろそろいかがですか～」と提案したところ「待ってました！」とばかりに全家庭から「お願いします！」と嬉しい返事がありました。病院と施設での活動は現場の判断を待つ体制で、ボランティア側がそろそろ～という打診はしません。感染の状況と現場の方針をもとに、現場が再開を決めるのです。

それに対し家庭への訪問はそれぞれの家庭の判断一つで決まります。

「学びサポート」が訪問するのは重度の障がいを持つ子どもですから、毎日、ヘルパーさん、訪問看護師、医師等の訪問が当たり前にあります。1 日に何人もの職種の人が子どもを支えています。

新型のウイルスが蔓延したからといって訪問医療やヘルパーを断ることなどあり得ません。

ですから他人の訪問受け入れに対して安全かつ必要であると感じるならば迷うことなどないのです。

**「学びサポート」はマストですから！**

というお母さんの言葉から、ご家庭が、「医療」と「学び」は等しく子どもの命や生活に欠かせないものと考えていることを、このコロナ禍が教えてくれた、と言っていいかもしれません。我が子の成長と命に 24 時間態

勢で寄り添う家族は有事の際にジタバタすることはありません。毎日、1秒1秒が命と向き合う瞬間です。

ひたすら我が子の健康と成長を見守るのだという愛情と、それに裏付けられた底力を強く感じます。

子どもから、そしてご家庭から学ぶ日々が再び始まりました。



## 「バリアフリーみんなの教材図鑑」を発刊しました

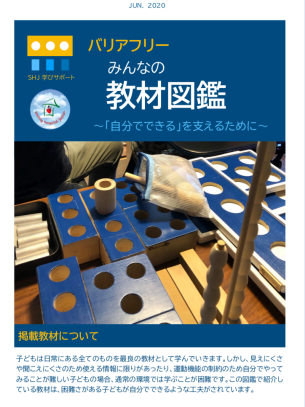
在宅訪問学習支援「学びサポート」で使用している教材についてまとめました。

学習支援ボランティアが作成しているオリジナル教材や、既存の支援機器等を紹介しています。

障がいが高く感覚や運動機能の制約が大きい子どもたちは、状況を把握するために必要な情報を得にくい状態にあります。また、頭の中ではやりたいことがあるけれども実際にはできることが限られていることも多く、外界とつながりにくい状態にあるといえます。そのため、通常環境では自然に学ぶ(偶発的学習)経験を積み重ねるのが困難な状況にあり、意図的に学習する機会を設定することが必要です。個別に環境を整え、丁寧に概念を形成することで、混沌とした外界を整理した形で捉えられるようになります。そうすることで、予測のつかない不安から徐々に解放され、見通しと安心を得てより能動的・主体的に生きる力を育てていきます。

自分でやってみてできたという経験が、様々な困難さに立ち向かう原動力になります。障がいの有無にかかわらず、子どもたちは最良の環境で自分自身の力を伸ばし可能性に気づき、それらを持って社会に出て行くべきです。このことを支えるのが教育に携わる我々の使命だと考えます。

「学びサポート」コーディネーター 松本健太郎



### 反響続々…感想の一部を紹介します その1

「すごい！」の一言です。

「まえがき」で「何から手をつけてわからない状態からスタートするためのきっかけとなったものをまとめました」とあります。保護者、教員等障がいのある子どもたちに関わる全ての人にとってもこの冊子はそういう存在になると思いました。「教材が備えるべき要素」「教材を使う」に書かれていることは、自分では意識しなかったことです。息子は見えず話せませんが、教材図鑑を拝読して、教材を工夫していくことでできることが増えると思えました。何をどう与えていくかの判断は難しいと思いますが、自作したいと思えます。

冊子を作って頂き、ありがとうございました。

(保護者 K.S様)

## 反響続々…感想の一部を紹介します その2

先日お送り頂きました『みんなの教材図鑑』を拝読しました。

まず、子どもたちの色々な面での困難というものは情報を受け取りにくいという“外からのもの”と伝えにくいという“内からのもの”であるとの記載に気づきを得ました。そういった、関わる方にとっては常識的な事にすら全く気づけていませんでした。

また、気を付ける必要があるものの1つとして“触覚過敏”が存在し、そういった困難のある子どもさんにとって触覚が気持ち悪く不快であるものとして『絵の具』が挙げられていたことにドキッとしました。以前一度だけ SHJ を通してデイケア施設を訪問し絵の具のワークショップを行った際、正に身をもって体験していたからです。

美術的な事に重度なハンデのある子が参加できるように考え、手のひらに絵の具を塗って台紙に押し付けるワークショップを行いました。何が起きているのか分からず、手のひらの冷たくニチャツとした絵の具の触覚に泣き叫ぶ子が1人いました。30分間という短い時間、何が行われているか分からないまま半ば強制的に手に絵の具を塗られ、台紙に押し付けられる子達…果たして、ここにいる重度の障がいを持った子たちにこの機会は必要だったのか？当日の他のいくつか疑問がわく出来事と併せ、ワークショップ中から終了後しばらく非常に落ち込みました。

今回、頂いた教材図鑑を読み、当日私を含めあの場にいた職員の方・提供者全員の知識が浅く、触覚過敏についても知らなかったと気づきました。これは関わるものとして大いに反省しなければいけない点だと思います。

過去の経験を思い出しながら教材の紹介や作り方を見ましたら、あの日のデイケアでもこういった教材を用いた遊びがふさわしかったのだろうなと思いました。一つ一つやすりで角を削る手間、色にも経験が活かされているという創意工夫に驚かされました。“色が手掛かりとして有効な場合がある”このあたりに更に受け入れられる可能性も感じました。

いずれにせよ、障がいのある子どもたちや、入院中の子ども達に関わることを簡単に考えてはいけないのだと感じました。こちらからの企画を押し付けるようなことはしたくないし、また、少なからず単なる『時間つぶし』と思われる現実には少し傷つくこともあります。でも、何か気づきを得てくれる子や嬉しかったり、幸せな気分になってくれる子がいたらそれだけで充分かな、と思います。1冊で色々と考えさせられる本でした。

良い勉強の機会を頂戴しありがとうございました。

(SHJ アーティスト 羽根佐知子)

## 売上げの一部が活動資金に！寄付型自動販売機が全国に広がっています！

コカ・コーラ ボトラーズジャパン社支援のもと、各地に寄付型自動販売機が設置されています。

設置場所一覧(昨年7月より順次):

- ① 茨城県常総市きぬ医師会病院
- ② 静岡県立こども病院
- ③ 日赤医療センター前バス停横駐輪場 2機
- ④ ロバートウォルターズジャパン
- ⑤ ヒュージョンシステムズジャパン
- ⑥ 福岡市ベストサービス
- ⑦ 茨城県つくば市 TB ファクトリー
- ⑧ 沖縄県宮古市「たまごやおかん」



設置スペース、電源、月々1500~2000円の電気料のみのご負担でいつでもどこでも！

設置場所は随時募集中です。お問い合わせ先: [info@smilinghpj.org](mailto:info@smilinghpj.org)





松本恵里率いるスマイリングホスピタルジャパン SHJ の活動を陰ながら応援しているが、今回あらためてその魅力について考えてみた。2012年に活動を始め、その年にNPO法人化したというから、ほどなく10周年を迎える。闘病を余儀なくされている子どもたちに本物のアートを届けて、よろこびや楽しみを共有することで、かれらの治癒力を促し闘病生活への意欲を湧きたせたいという創立時の思いは、以来片時もぶれていない。

### SHJの魅力① 闘病中の子どもたちへのまなざし

現在この国には、不登校といわれる小中高生や、将来への夢を抱くのも難しい母子家庭の子どもたち、3度の食事にも事欠く子どもたちなど、行政や公教育から「遠いところ」にいる子ども層が少なくない。もちろん、彼らの周りには、その困難に気づいて個々に手を差しのべる大勢の人たちがいる。だが、病院や家庭で日々闘病に明け暮れる子どもたちの存在や苦痛に、どれだけの人が気づいていただろうか。

院内学級の教員として、闘病中の子どもたちに接してきた松本恵里は、難病を身に受ける子どもたちの運命の不条理に怒りを隠さない。「なぜ、この子たちがこんなに苦しまなくてはいけぬのか」。そんな憤りがあるからこそ、ベッドの上の子どもたちに向けるまなざしはひたすら温かい。訪れるアーティストたちも同様で、「一緒に楽しもう」「この時間はぜんぶ君たちのものだよ」と、ぬくみあるまなざしを向けている。社会が敢えて見ないでいる、病院や施設内で医療に身を委ねる子どもたちを、その保護者たちをしっかりと見据えているまなざし—それがSHJの第一の魅力だ。

### SHJの魅力② アートを届けるという方法

SHJで闘病中の子どもたちに音楽や美術、マジックなどの活動を届けるのはプロのアーティストに限られている。頼もしい点だ。客観的に感動を与えられるのはプロならではのワザに基づくことはいうまでもない。気分がふさいだときに音楽を聴けば、元気が出るという人は多い。また、お気に入りの絵画が心の支えである人もいよう。こうした感動(ワクワク・ウキウキ・ジーン)は私たちが生きるのになくてはならない要素だ。なぜなら感動は私たちの魂に直に響く営みだからだ。もちろん言葉によるコミュニケーションやスキンシップも心に沁みる。だがアートの力は一度に多くの人を包み、支え、生かすもの。SHJはその活動を通して、子どもたちや周りの大人たちに、そしてアーティスト自身にアートの力(=魂を感動させる力)を実感させている。それがとてつもない第二の魅力。

### SHJの魅力③ 場の共有→心の交流→魂の営みの循環の不思議

松本恵里がこの活動を始めるに至った経緯を聞けば、人と人がどう繋がっていたかが分かる。よい事を思いついた人の周りには、それを実践できる人が集まるものだ。そうやって人が人に出会い、磨き、生かす。スマイリングホスピタルハンガリー創始者のアルバート・ロイヤー氏が語るように、子どもたちの魂をなだめ、活力を与え、よろこびをもたらす活動こそが、子どもたちを生かしていく。子どもたちが笑顔になることが、周囲を生かし、アーティスト自身をも生かすのだ。「励ますつもりで行ったのに逆に子どもたちに元気づけられた」ボランティア後にそう語るアーティストは少なくない。これこそが、アートを介した場の共有、心の交流を経て生まれる魂の営みの循環の不思議だ。生憎今年はコロナ禍で思うように活動できなかったというが、この不思議から生じるエネルギーが、SHJを次のステージへと推し進めるに違いない。医療機関をはじめ、この国の多くの人や地域でSHJ理解とサポートがさらに増すことを願っているし信じている。



## 連載漫画 ろてんちゃん その12



by 三輪ゆうこ



## ●スマイリングホスピタルジャパン概要(2020年9月1日現在)

名称	認定 NPO 法人スマイリングホスピタルジャパン (略称:SHJ)				
設立	任意団体として2012年2月25日 法人設立2012年12月25日 認定取得 2017年7月27日				
所在地	〒168-0072 東京都杉並区高井戸東3丁目3番15-308 電話/Fax:03-4296-5691				
活動目的	難病や障がいと闘う子どもたちが、プロのアーティストによる定期的芸術プログラムを通し、闘病意欲や生きる喜びを持ち続け、回復に向けての活力を得られるよう、QOLの向上に寄与することを目的とする。				
事業内容	① 病棟や個室を訪問して芸術活動等を行う事業 ② 在宅児・者を訪問して芸術活動・学習支援等を行う事業 ③ 病院や施設のホール等で芸術鑑賞などの会を開く事業 ④ 普及啓発及び情報発信事業 ⑤ その他目的を達成するために必要な事業				
活動方針	・個別訪問 一人ひとりを大切に。 ・参加型活動 受け身ではなく子ども自身が主体的に。 ・定期訪問 見通しを持って活動を楽しみにできるように。生活にリズムを。 ・本物のアート 質の高いクリエイティブな活動を。				
活動場所 小児病棟:30 施設:14	<b>北海道・東北】</b> 北海道大学病院 / 北海道立子ども総合医療・療育センター / 石巻赤十字病院 <b>関東】</b> 神奈川県立こども医療センター各病棟・肢体不自由施設・重症心身障害児施設 / 慶應義塾大学病院 / 新宿養護学校内ひまわり HAUS / 重症心身障害児サポートなかのドリーム / 特定非営利活動法人みかんぐみ千葉県こども病院 / 筑波大学附属病院おしゃべり会 / 東京女子医大筋ジストロフィー親子の会 / 東京大学医学部附属病院 / 日本赤十字社医療センター / 同附属乳児院 / 日本大学医学部附属板橋病院 / 茨城県立医療大学附属病院 / ハートっ子土浦 / 千葉大学医学部附属病院 <b>中部】</b> あいち小児保健医療総合センター / 静岡県立こども病院 / 名古屋大学医学部附属病院 / 信州大学医学部附属病院 <b>近畿】</b> 大阪市立総合医療センター / 京都大学医学部附属病院 / 児童デイサービス Primo チャイルド・ケモ・ハウス / 姫路赤十字病院 / 兵庫県立こども病院 / 淀川キリスト教病院こどもホスピス姫路聖マリア病院ルルド館 <b>中国】</b> 県立広島病院 / 広島市立広島市民病院 / 広島県立障害者リハビリテーションセンター若草園 <b>九州・沖縄】</b> 九州大学病院 / 久山療育園重症児者医療療育センター / 北九州市立八幡病院 福岡市立こども病院 / 久留米大学病院 / 沖縄県立宮古病院				
学びサポート	東京都内 9カ所	事業年度	10月1日~9月30日		
年間活動数	540回 (2018年度実績)	参加者数	延べ 11,622名 (2018年度実績)		
役員 事務局	代表理事 松本恵里 副代表理事 野間紀孝 理事 丸山敦子 理事 谷口明子 理事 平井麻衣子 理事 藤田城治 監事 橋本徳行 瀬戸山あゆみ 加藤孝佳 望月聡子 丸山敦子 山口英一 野間紀孝				
地区 コーディネーター	北海道:米澤倫子 石巻:千葉淳子 茨城:五十嵐純子 千葉:北畠みゆき 長野:小倉輝久 東京・神奈川:松本恵里 静岡:鈴木知子 愛知:箕浦恭代 京都:田久朋寛 大阪:西 純江 兵庫:住野由佳子 広島:田中直子 福岡:藤原隆幸 沖縄:神原紀美代 知明 学びサポート:松本健太郎				
アーティスト	166名	活動アシスタント	19名	学習支援ボランティア	6名
正会員	10名	サポート会員	236名 10団体	事務局ボランティア	7名
E-mail	info@smilinghpj.org		ホームページ	http://www.smilinghpj.org	
銀行口座	ゆうちょ銀行 名義:特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン 記号:10090 番号:74039541 (他行から:店名00八 店番 008 普通 7403954) みずほ銀行 名義:特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン 支店:浜田山支店 預金種目:普通預金 口座番号:1950697				
活動資金	会費 個人・団体からの寄付 企業協賛 助成金 主な用途:アーティスト謝金 抗体検査料 など				

### 協賛・スポンサー・助成団体



このほか、たくさんの方からご寄付いただいています。個人寄付・サポート会員のお名前は、ホームページに掲載させていただきます。